

保護猫のシェルターの改修とTNR活動

一般社団法人動物愛護の会アベニール

一般社団法人動物愛護の会アベニールでは、八重瀬町内を中心とした猫のTNR、ボランティアと協働した地域猫の見守り活動のほか、沖縄県全域で捨て猫や多頭飼育崩壊、飼い主が病気のため行き場のなくなった猫の相談があった際に保護活動を行なっています。

【活動背景】

沖縄は温暖な気候のため、一年中子猫の保護が続きます。この状況を改善するためにTNR活動が急務となっています。それだけでなく、遺棄や虐待、多頭飼育崩壊など、急を要する保護が後を絶ちません。遺棄や虐待を無くすための適正飼育の周知が緊急の課題です。



【助成金の用途・活動結果】

助成金は猫の医療費及び、シェルター改修工事費に活用しました。アベニールのシェルターでは、猫にストレスをかけないため、そして譲渡先での生活を見据えて猫はフリースタイルで生活させています。改修工事で新しい仕切りを設置したことにより、TNR活動の際の猫の手術前後の一時待機場所として、また新たに保護した猫がいた場合にも、仕切り越しに顔を合わせることで徐々に慣れていきケンカを防げるようになりました。病気が進行した猫の投薬や食事の落ち着いて過ごせる場所としても活用されています。

【活動目的】

譲渡会を通して猫たちが保護された背景を多くの人に知ってもらい、動物愛護について考える機会を持ってもらいます。また、TNR活動と合わせて行い、動物も人間と同じ命として尊重し、共存しあえる未来にすることが目的です。



【団体からのメッセージ】

JAC様には改修工事の助成だけでなく、さまざまな相談にも対応していただき、感謝申し上げます。大変心強く、励みになっています。

TNRが周知されたことで保護依頼も増加しているのですが、これも今まで見過ごされてきたことに人々の関心が向き始めたのだと前向きに捉えるようにしています。様々な困難はありますが、いつか、救わなければならない命が無くなるように地道に活動を続けていこうと思います。